

平成 26 年度・応用生物科学部・研究科自己点検評価書

項目	取組内容（成果、課題など）	根拠資料	応用生物科学部・研究科の取り組みを示すポンチ絵（公表用1枚）
<p>基準4 学生の受入</p> <p>4-1 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められ、それに沿って、適切な学生の受入が実施されていること。</p> <p>4-2 実入学者数が入学定員と比較して適正な数となっていること。</p>	<p>入学者選抜の適切性の確認</p> <p>○ 学部・特別選抜・推薦Ⅰ・Ⅱの「調査書」について検討した結果、効果的であると結論し、「調査書」による評価を継続することとした。</p> <p>○ 研究科では、「特別教育プログラム」（外国人・日本人混在型、英語での授業、秋季入学）を新設し、私費外国人留学生を4名受け入れ、同プログラムを開始した。</p> <p>入学者数を改善するための取組</p> <p>○ 学部の入学者数は入学定員の1.08倍であり適正な数である。研究科の入学者数は入学定員の1.10倍で有り適正な数である。</p>	<p>・入試委員会メモ（資料1）</p> <p>・研究科入学選抜方法等の一部改正について（資料2）</p> <p>・平成27年度入学者選抜状況（資料3）</p>	
<p>基準5 教育内容及び方法</p> <p>5-2 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。（学士課程）</p> <p>5-5 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等（研究・論文指導を含む。）が整備されていること。（大学院課程）</p>	<p>学部・初年次教育の改善</p> <p>○ 教育改善室に設置した「初年次教育WG」において、現状の初年次教育の検証が行われ、策定された次年度「初年次セミナー」改革案が教授会で承認された。</p> <p>研究科カリキュラムの改正</p> <p>○ 平成25年度改正されたカリキュラムポリシーにしたがって、研究科・専攻・コースの各共通科目が順次開講され、高度な専門性に厚みを加える基盤的専門的能力の涵養する教育が開始された。</p>	<p>・平成27年度初年次セミナー改革案（資料4）</p> <p>・本学部・研究科教育シンポジウム資料（H27.2.26）（資料5）</p> <p>・応用生物科学研究科シラバス（資料6）</p>	
<p>基準6 学習成果</p> <p>6-1 教育の目的や養成しようとする人材像に照らして、学生が身に付けるべき知識・技能・態度等について、学習成果が上がっていること。</p> <p>6-2 卒業（修了）後の進路状況等から判断して、学習成果が上がっていること。</p>	<p>学習成果の向上に繋がった取組</p> <p>○ 学生による授業評価結果を学部内で公表することにより、今年度の5段階評価の平均が前期4.01、後期4.07と公表当初平成22年度の平均3.67を大きく上回る結果を得たことから、学習成果が向上していると考えられた。</p> <p>卒業（修了）時アンケート評価結果</p> <p>○ 卒業及び修了時の意識調査より、満足度がそれぞれ92.2%及び84.7%と高い値であった。このことから、本学部・研究科で学んだことにより、一定の学習成果を挙げていると学生自身が自己評価していると考えられた。</p>	<p>・平成26年度・授業評価結果（前期・後期）（資料7）</p> <p>・卒業・修了時アンケート調査結果（資料8）</p> <p>・FD資料（応用生物科学部各種アンケート調査解析H27.5.20）（資料9）</p>	
<p>基準8 教育の内部質保証システム</p> <p>8-1 教育の状況について点検・評価し、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための体制が整備さ、機能していること。</p> <p>8-2 教員、教育支援者及び教育補助者に対する研修等、教育の質の改善・向上を図るための取組が適切に行われ、機能していること。</p>	<p>教育の質の改善に繋がる取組</p> <p>○ 教育改善室により、シラバスに基づく成績評価について点検したところ、教員全員から回答があり、96%の教員がシラバス通りに、4%が根拠を示して適正に変更していることを確認した。</p> <p>○ 教育改善室の下に第三者教育評価委員会が設置され、共同獣医学教育の評価を行い、教育目標が獣医師法に従って定められており、この目標に従って教育ポリシーが定められていることを確認した。</p> <p>○ TAの教育指導の質の向上とTAの効果的な教育参画を促すため、ガイダンスを実施した。</p>	<p>・シラバス成績評価・点検報告書（資料10）</p> <p>・第三者教育評価委員会資料（資料11）</p> <p>・TAガイダンス資料（資料12）</p>	

平成26年度・応用生物科学部・研究科における教育改革（基準4、5、6、8関係分）

基準4 学生の受入

入学試験委員会
課程・学科

- ◎ 特別選抜:「調査書」の検討→継続実施
- ◎ 平成27年度入学者205名／定員190名(定員充足率107.9%)

大学院委員会

- ◎ 特別教育P(外国人・日本人混在型、英語秋季入学)新設
→私費外国人留学生4名受入
- ◎ 平成27年度入学者98名／定員89名(定員充足率110.1%)

基準6 学習成果

自己点検評価委員会

- ◎ 学生による授業評価の学部内公表(H22～)
→5段階評価・平均3.67(H22)
→平均4.01(H26前期)、4.07(H26後期)に上昇
→学習効果の向上傾向
- ◎ 卒業(修了)時アンケート
満足度92.2%(学部)、84.7%(研究科)

室長: 学部長
室員: 副学部長、事務長、事務長補佐

教育
改善室

応用生物科学部・研究科
教育シンポジウム(H26.2.26)
毎年開催(年度末)

- ◎ 学部・研究科内: 議論、周知
- ◎ 学部外参加者: 外部評価

基準5 教育内容及び方法

初年次教育WG

- ◎ 初年次教育の検討→初年次セミナー改革(教授会承認)
→H27実施

大学院委員会

- ◎ H25カリキュラム改正
→共通教育(研究科・専攻・コース)実施(2年目)
→高度職業人の基盤形成(→H27研究科改組のモデル)

- ◎ シラバスの自己点検(成績評価)
→シラバス通り96%、残り4%の対応の確認

基準8 教育の内部保証システム

第三者教育評価委員会

- ◎ 共同獣医学科教育の第三者評価(他課程、事務)
→獣医師法に基づく目標・教育ポリシーの確認等
→他課程(H27)

大学院委員会

- ◎ TAガイダンスの実施